

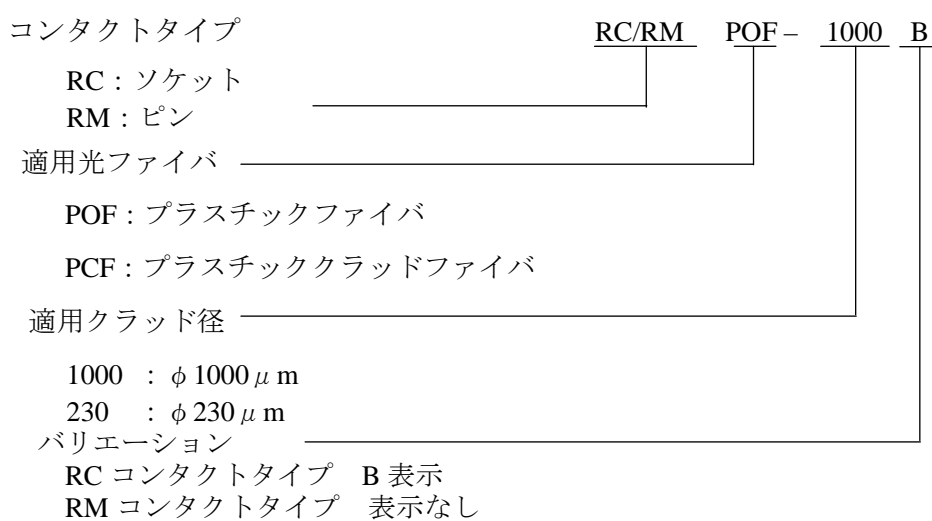
トリム・トリオコネクタシリーズ 光ファイバコンタクト仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、光ファイバコンタクトの定格および性能等について規定する。
但し、ここではトリム・トリオシリーズに当製品を装着した場合について規定する。

2. 型番構成

2-1. コンタクト



3. コネクタ形状・寸法 図面参照。

4. コンタクト形状・寸法 図面参照。

5. 適用ケーブル・組立工具・コンタクト引抜工具

適用ファイバ(POF) : クラッド径 $\phi 1000 \mu\text{m}$ ジャケット外径 $\phi 2.2\text{mm}$
(PCF) : クラッド径 $\phi 230 \mu\text{m}$ ジャケット外径 $\phi 2.2\text{mm}$

組立工具、引抜工具 : 図面参照。

6. 定格

6-1. 挿入損失 2.0dB 以下

6-2. 使用温度範囲 $-25^{\circ}\text{C} \sim +70^{\circ}\text{C}$

7. 性能

No.	試験項目	性能	試験方法
7-1	挿入損失	初期値、2dB 以下	挿入損失測定方法 1 (JIS C5961)による。
7-2	耐久性 (繰り返し動作)	外観に異常なきこと。 試験後、挿入損失の増加は初期値に対して 0.5dB 以下であること。	コンタクトをコネクタに装着し、毎時 600 回以下の速さで 800 回の嵌合、離脱の動作を行う。
7-3	フェルール押圧力	フェルール押圧力 7.8N(0.8kgf)～11.8N(1.2kgf)	ソケットコンタクトのスプリングを規定値までストロークさせてその時の力を測定する。
7-4	温度サイクル	外観に異常なきこと。 試験後、挿入損失の増加は初期値に対して 0.5dB 以下であること。	-25°C/30 分, +70°C/30 分 これを 1 サイクルとし 100 サイクル実施する。
7-5	ファイバ保持力 (フェルール部)	外観に異常なきこと。 試験後、挿入損失の増加は初期値に対して 0.5dB 以下であること。	コンタクトを装着したコネクタを嵌合状態でプラグとソケットのケーブルの軸方向に 49N で 1 分間の荷重をかける。

8. 荷造り・梱包

8-1. コネクタ

プラグ・レセプタクルとも、適当数を梱包箱に収納する。

8-2. コンタクト

・ 50本入りケース

50本毎にビニール袋に入れる。

8-3. 表示

収納ケースおよび梱包箱には、製品型番、数量を表示する。

以上